

施策カルテ

1 施策の位置付け

担当課 保健福祉総務課

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	都市の福祉力を高める	取組の 基本方向	「都市の福祉力を高める」ため、福祉教育等により地域の人材育成を図るための「市民の福祉活動への参画促進」、市民の保健・福祉ニーズに迅速かつ、きめ細やかに対応する双方からノーマライゼーション（等しく生きる社会）の実現を図るための「ユニバーサルデザインの推進」、適切な施設サービスを提供するための「社会福祉施設の充実」、住み慣れた地域において、自立した生活をおくる環境をつくるための「保健・福祉サービス基盤と支援機能の充実」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	充実した保健・福祉サービスにより、住み慣れた地域において自立した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	------------	-------------	---	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	社会福祉施設の充実		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	②施策目標	市民が福祉施設において、ニーズに応じた質の高いサービスを利用しています。		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値				
	③施策を 取巻く環境	国・県等の 動向		国・県の経済危機対策臨時交付金の補助額が平成22年度増額されたことにより、事業者の参入意欲が高まりつつある。 事業者の新規参入の推進と施設の整備・運営の質の確保の両立が課題となっている。	指標① (総合計画 に基づく指 標)	小規模多機能居宅介護事業所の整備率	9.5	24	28	48	100	100	48.0%
		外部意見 その他		高齢者の入所施設については、平成21年度の指定介護老人施設入所申込実態調査の結果において、入所待ち（待機者）が多数存在しているというものであり、また、市民や議会からも施設整備の要望が出ているものである。	指標②	特別養護老人ホーム床数の整備数	-----	-----	0	208	158	366	48.9%
			指標③		-----	-----	0	179			#DIV/0!		
			指標④ (特記事項)										
⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足 度	19.0%	市民の 施策重要 度	74.8%	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	● 概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	一定の施設整備は進んでいるが、小規模多機能事業所を市内全圏域に整備するためには、事業者の確保を進める必要がある。	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点	市民が住み慣れた地域において適切な施設サービスを安心して受けられるようにするため、各種福祉施設の整備を推進したことにより、利用者の受入れ定員が増えた結果、待機者の減少が図られた。
					必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	● 横ばい	● 減少している	説明	老人福祉施設等の整備については、入所待機者が解消されていない現状があることから、十分なサービス提供体制を確保するため、引き続き必要な支援を行い、施設整備を促進する必要がある。		改善の必要な点	より計画的かつ円滑に、各整備計画に基づき事業を推進するために、引き続き事業者への支援や施設整備の進捗確認を行う必要がある。
					適切性 (適切な事務事業 の選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が 一部ある	● 不十分な事業が 複数ある	説明	入所待機者解消のため、施設整備は急務であり、継続して実施していく必要がある。			
					有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	● 不十分である	説明	適切な施設サービスを受けられるよう施設整備することは、福祉力の向上につながり効果を上げている。			

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	住み慣れた地域において、自立した生活を送るための環境整備に向けては、施設サービス提供体制の確保が重要であることから、国の補助制度等を積極的に活用し、各種計画に基づく施設整備を推進する。なお、社会福祉施設サービスの質的向上を図るため、効果的な指導監査を実施していく。	⑨政策評価 会議意見	進捗状況は約50%までにとどまっている。住み慣れた地域で自立した生活を送るため、十分な施設サービス提供体制の確保は重要であるため、今後より一層計画的な施設整備を推進する。 待機者解消に向け、事業者の質の確保も考慮しつつ計画的に施設整備を進めるとともに、老朽化にも対応していく。 平成24年度からの、第5期介護保険事業計画を見据えながら、適切かつ効果的な整備を検討する必要がある。
	重点事業	入所待機者解消や安全性の確保のため、「介護施設整備等補助金」、「老人福祉施設整備費補助金」、「老人福祉施設小規模整備費補助金」等により、事業者の質の確保も考慮しつつ計画的に施設整備を進めるとともに、老朽化にも対応していく。		
	見直し事業	「老人福祉施設整備費補助金」において、平成24年度からの第5期介護保険事業計画を見据えながら、適切かつ効果的な補助制度の検討をしていく。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	介護施設整備費等補助金 担当課 保健福祉総務課	社会福祉法人等	H18	地域密着型サービス事業所整備数 スプリングラー設置整備数	7	14	50,576	385,957	A	継続	スプリングラーの整備は平成22年度末までに全て完了したが、地域密着型サービス事業所については、第4期介護保険事業計画(H21~23)に基づく基盤整備の一環として、引き続き施設整備を推進していく。なお、整備事業者の選考における審査を適切に行っていくことにより、サービスの質の確保を図っていく。
					5	19					
2	老人福祉施設整備費補助金 担当課 保健福祉総務課	社会福祉法人等	H8	補助交付件数	0	3	0	1,018,110	A	見直し	第4期介護保険事業計画(H21~23)に基づき、介護サービスに係る基盤整備の一環として引き続き施設整備を推進する。また、施設規模や施設形態、法人の運営効率等を総合的に勘案し、適正な補助単価の設定について見直しを図る。
					0	15					
3	ちとせ寮・松原荘再整備補助金 担当課 保健福祉総務課	社会福祉法人	H20	建設進捗率	30	100	53,525	1,284,610	A	終了	平成22年度をもって、施設整備が完了したことから、当該補助金の交付についても終了とする。
					4	100					

様式 2

4	老人福祉施設小規模整備費補助金	社会福祉法人	H8	補助交付件数	1	1	2,112	0	B	継続	施設の老朽化は進行しており、施設環境の向上を図るため、制度を見直しつつ、本事業を継続する。
	担当課				保健福祉総務課	1					
5	老人福祉施設利子補給金	社会福祉法人	H8	補助交付件数	18	6	8,450	3,323	B	継続	施設整備の建設費借入に係る支払利子の財源として、介護報酬が充当可能となったことに伴い、介護保険適用施設については平成22年度廃止したが、介護保険適用外施設については、継続して支援を行っていく。
	担当課				保健福祉総務課	18					
6	障がい者福祉施設整備費補助金	社会福祉法人	H8	補助交付件数	7	2	223,155	205,224	B	見直し	障がい者が住み慣れた地域において安心した生活を送ることができる環境を引き続き整備する必要があるが、新法制度移行に伴い、国庫補助基準額が増額されたことから、市単独補助単価の設定の見直しを図る。
	担当課				保健福祉総務課	7					
7	障がい者福祉施設小規模整備費補助金	社会福祉法人	H8	補助交付件数	1	1	2,840	0	B	継続	施設の老朽化は進行しており、施設環境の向上を図るため、制度を見直しつつ、本事業を継続する。
	担当課				保健福祉総務課	1					
施 策 事 業 費 合 計							340,658	2,897,224			